



4
 2018

主題 (2017/2018)	
国際会長	Friendship across the borders Let us walk in the Light-together 「国境なき友情」 「ともに、光の中を歩こう」
アジア会長	Respect Y's Movement Solidify the Ys Men Family for Better World. 「ワイズ運動を尊重しよう」「よりよい世界のため、Ysファミリーの絆を強めよう」
西日本区理事	Healthy mind&healthy body make healthy club 2022年にむけて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中西部長	Hope for the Future 「未来には希望がある」
大阪クラブ会長	Exchange the Neighborly Love 「隣人愛を実践しよう！」

会長	牟 大
直前会長	北 村 知
副会長	三 森 嶋 弘
	豊 島 正
書記	利 本
会計	脇 博
ブリテン	博 博
連絡主事	清 水 汎

【今月の聖句】

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。

ヨハネによる福音書 20 章 19～20 節

【聖句に寄せて】

田尻 忠邦

今年のイースターは4月1日です。言うまでもなく、イースターはキリストの復活をお祝いする日です。まさに復活とは、見えない事実を確認することです。またそこに生きる私たち全員が、復活によって、恐怖や、喪失感などの何ものにも負けずに、力強く生きることを求める、神様の励ましなのです。

【巻頭雑感】

清水 汎

日本とアメリカの関係から、日本の独立性が安全保障問題で疑われる問題がいろいろとアメリカ側から公文書が公開されています。安全保障条約の密約として、日本はアメリカの治外法権下にあり、国の実質的トップは米軍と日本官僚であり、日本を支配する方針は彼らによって決められているようです。

日本は、憲法では戦争放棄を謳っていますが、日本全土にアメリカは軍事基地を設け、その基地から戦争に参加、攻撃ができることが密約で決められており、日本の自衛隊はこのたび共同作戦に参加できますが、その指揮権はアメリカ側にあることが、密約に明記されています。日米合同委員会が日米で設けられていますが、その構成員は13名で、アメリカ側が7名、日本側が6名で、アメリカは公使、以下陸、海、空の軍司令官、または参謀長、日本は外務省北米局長以下各省の局長以上となっており、ここで決められたことは日本の国会、憲法より上位のようです。日本は、戦後75年平和が続き、戦争に関係せずおられ

たのはアメリカの庇護の下にあったのは事実ですが、バブル崩壊20年、財政の悪化、沖縄基地等がアメリカの影響もあることも事実です。

世界の力のバランスを見ても、日本が平和で単独で生き延びることは難しい状態ですが、日本国民にとっては府に落ちない気持ちとなりますが、アメリカとどう付き合い、独立性のある平和国家として存在を高めるか、高い意識が必要です。経済、政治、思想が一致するのはアメリカであり、アメリカと仲良くするのがベストですが、日本が自主的に国の方針を決めることも大切です。

先日トランプ大統領が、アメリカファーストの名のもと貿易政策を発表、高額関税の一部を除き多くの国に課しましたが、安全保障と絡み今後大きな波乱を起こすことになると思います。

今後世界が、平和で平穏に暮らせるよう祈るのみです。

【4月例会プログラム】(YMCAサービス・ASF強調月間)

と き：2018年4月10日(火) 18:30～

と ころ：土佐堀YMCA 101号室

会 費：ビジター 1000円

司会：脇本 博メン

1. 開会の鐘 牟 大盛 会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晚餐
6. 会食
7. 講演：「サンフランシスコの日系人団体と大阪 YMCA との中学生バスケットボール交流を通じての出会いについて」
植野正弘氏(バスケットボール協会会長)
8. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
9. インフォメーション
10. YMCAニュース
11. 閉会の鐘 牟 大盛 会長

受付：清水(民)、牟、脇本メネット

【講師プロフィール】

テーマ：「SHINZEN」サンフランシスコの日系人団体JCCNC(Japanese Cultural and Community Center of Northern California)と大阪YMCAとの中学生バスケットボール交流を通じての出会いについてお話いただきます。

植野 正弘 氏

大阪市立の三校の校長を歴任

全国中学校社会科教育研究会 前副会長

大阪市 ジュニアバスケット連盟 前会長

大阪市バスケットボール協会 会長

◆今月のお誕生日：清水 汎（03）、 田尻 忠邦（24）

◆メネットさんお誕生日：藤岡 邦代（06）、 尾和 宣子（22）

◆結婚記念日：北村 知三（22）

【第2例会のご案内】

と き：2018年3月20日（火） 19：00～21：00

と ころ：大阪土佐堀YMCA会館 701号室

（変更になることもあります）

【3月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	13	9 (69.2)	1	5
広義会員	1	0	0	
計	14	9	1	5

☆ニコニコ献金； 13,000円

★メネット；脇本真知子メネット会長

★ビジター；今井利子様（大阪なかのしまクラブ）

★ゲスト；佐々木貴教様（講演者・京都大学 宇宙物理学博士）

植野正弘様（大阪バスケットボール会長）、

原田豊様（会社経営）、

山原雅弘様（大阪クラブ知人）

脇本京子様（脇本さんの妹）

【3月第2例会・役員会報告】

日 時：2018年3月20日（火） 19：00～20：30

場 所：土佐堀YMCA701号室

出席者：清水汎・脇本博・脇本真知子メネット・牟大盛

協議事項：

1）4月例会（YMCA サービス/ASF 強調月間）4月10日（火）19：00～

場所；大阪YMCA土佐堀館10F（101号室）

講師；植野正弘氏 講演題目；「SHINZEN」（SF 日系団体CCCNCと大阪Yとの中学生
バスケットボール交流） 謝礼；1万円

司会；脇本メン、 受付；藤岡、尾和、崔メネット

- 5月例会（LT 強調月間）5月8日（火）「90周年準備委員会」として話し合い；
90周年用の2千円のお弁当をシンエイフードに依頼し試食する。（担当；脇本メン）
 - 6月例会（年間評価、次期計画）6月12日（火）
- *クラブ月例会にYMCAのスタッフや教員など会費無料招待とする。

2) その他協議事項

① 他クラブ周年記念例会への参加者を再確認

—宝塚クラブ：創立30周年 3月21日（水・祝）12：00～15：00 宝塚ホテル
参加予定者：北村メン（祝儀なし）

—近江八幡・西宮・広島：3クラブ合同創立70周年例会 5月12日（土）
参加予定者：牟会長、豊島メン、田尻メンにもお願いする。（祝儀 3クラブ宛てに3万円）

② 部会・イベント（*印は大阪土佐堀YMCA行事）の件；

—*総主事就退任式 3月21日（水・祝日）15時～、土佐堀YMCA（脇本メン・牟会長）

—チャリティーコンサート；4月21日（土）18：00～20：30 土佐堀Y10Fチャペル
参加費；3千円（食事・ドリンク付）、ミャンマーYへエイズ孤児支援金、
主催；土佐堀ワイズメンズクラブ

—「うなぎの森」 5月20日（日）午前10時～ 高槻・神峯山 苗木代1本2千円、弁当代千円
主催：大阪府木材連合会 協賛：ワイズメンズクラブ中西部
苗木購買者：牟会長、清水（汎）メン、北村メン、脇本メン

—第21回西日本区大会 6月8日（金）前夜祭・9日（土）・10日（日）ANA ホテル神戸
申込み：個人申請

③ 90周年祝会実施の件；清水汎 実行委員長

日時：2018年11月10日（土）ワイズデー 12：00～16：00（受付11：30）

場所：大阪YMCA土佐堀館2階大ホール

*日時変更の件

区役員会と重なるが、役員に来賓祝辞と共に集合写真などを先に撮るなどして、変更はしない。

—前月討議した事項

- ・祝会当日は、メンバー全員がHH国際キャンプで作った法被を着ること
- ・4月クラブ第2例会で準備委員会を設け、検討準備すること
- ・記念誌の編集について、85周年記念誌に直近5年間のクラブ活動を加えること
- ・チャータークラブ24クラブへの挨拶状について
- ・案内チラシを周年記念会や区大会部会などに分担参加して配布すること
- ・案内チラシ第2報作成 ・講師は、佐々木先生、洋楽を依頼 ・お弁当はシンエイフードとする

④ 中西部の動向について協議した。

⑤ ブリテン編集の件：

宝塚クラブ記念例会；北村メン、総主事交代式；牟メン、研修会；脇本・牟メン

—例会報告担当者：3月田尻、4月清水、5月濱添

⑥ 次期の役員、例会について（*8月納涼例会の場所予約）

⑦ 次々期会長の件について協議した。

⑧ その他協議事項について

—HH国際キャンプの件

(前月の説明では) 3月中にHHリーダー会のメンバーと集まり、リーダー会の方向性、プロジェクトを進める方針、

—パサデナクラブ交換留学生(受け入れ)の件

(前月の説明では) YMC Aの今年の「グローバルユース・コンファレンス」の時期(8月6日～10日)に合わせる。

【3月例会報告】

田尻 忠邦

3月の例会は、脇本メンの紹介で京都大学宇宙物理学教室にて「惑星の形成と進化」の理論研究を専門とされる佐々木貴教助教授に「太陽系外惑星に『第二の地球』を探す」のテーマでお話いただきました。

まず太陽系外惑星とは、太陽以外の恒星の周りを回る惑星の事で、その発見に向けて1940年代1960年代と系外惑星発見の発表はありますが、実際には間違いであることが明らかになります。1989年にアメリカの観測チームが、1993年にはニュージーランドの観測チームが惑星は発見できなかったと発表します。そして1995年2月にアメリカの観測チームが、「太陽系は特殊で奇跡的な惑星系である」と発表し、8月には「太陽系外には惑星は存在せず」と結論付けます。

しかしながら、10月にスイスの観測チームがペガサス座51番の回りにホットジュピターが存在すると、人類初の系外惑星の発見を発表しました。これは、従来の土星の周りを回る恒星や地球と月の距離間を前提で探索していたため、ホットジュピターのように、はるかに近い距離で周回している惑星は、これまでの既成概念にとらわれていた観測チームは発見に至らなかったのです。その後は太陽系外惑星が続々と発見され2018年3月13日現在3,743個の系外惑星が確認されています。

次の関心事は、地球に似た惑星が存在するかどうかです。「第二の地球」の発見に向けてのターニングポイントは、2009年に打ち上げられてトランジット法観測(惑星が恒星の前を通過する際に明るさが変化する周期的な明るさの変化を観測する方法)により主に系外地球型惑星を探索するケプラー宇宙望遠鏡の出現です。これにより、系外惑星発見件数は飛躍的に伸びます。2015年には、地球サイズの惑星が発見されます。惑星の表面に液体の水が存在できる領域をハビタブルゾーンと呼び、地球サイズの惑星がその条件を満たしていると言われていました。さらには、2017年2月23日にさらに7つの地球の姉妹惑星の発見が発表されます。うち3つには、水が存在する可能性もあり、「第二の地球」の発見は時間の問題だと言われています。今後、加速度的に研究が進み、「われわれは何処から来て何処へ行くのか」、「生命を宿す第二の地球は存在するのか」という質問の答えが見つかる日もそう遠くないのではないのでしょうか。とても遠大なテーマでスケールの大きい夢のあるお話でした。



【次期会長・主査研修会報告】

牟 大盛

3月10日～11日、一泊二日の次期会長・主査研修会が大阪コロナホテルで開催されました。私は、10日土曜日のみの参加でしたので、初日の研修会内容を報告いたします。

午後1時から、大野勉理事の開会点鐘で開催です。まず、次期アジア太平洋地域会長の東京、多摩みなみクラブの田中博之メンによる「クラブ会長と主査の役目」について、世界のワイズの動きとともに体験談を交えながら講演がございました。

2017年2月現在、世界の国際メンバー数は、総数25,173人で、そのうちアジア太平洋地域は、3,893名で、日本は西日本1,545名、東日本917名との事で、別途分離した韓国は5,494名との事でした。また、意外にもワイズ発祥の米国は1,014名と少なく、現在はアジアと欧州5,783名、インド7,977名等が国際の主要を占めているとの事。また、中国には4クラブのワイズクラブが存在するが、未だに国際に所属してないとの事でした。

また、国際の憲法改正についても言及がありました。それは、5名でクラブチャーターができるのに、国際投票権が15名の会員を維持しているクラブのみとなっており、この矛盾を早期に解消するべく検討中との事です。また、YES（ワイズ新クラブ設立サポート）献金の明瞭化のため、本部でなく2016年からタイ、チェンマイのサテライトオフィスがしているとの事です。

大野勉理事からは、西日本区の現況についてお話がありました。まず、2022年ワイズ創立100周年を前に、「ワイズの宝物」を、明日の社会に伝承して行く（ワイズ将来構想事業の推進）を強調され、Yと共に、「明日のリーダーを今日育てる！」事に尽きると強調されました。また、2018年8月9日から韓国、麗水市で第73回国際大会、2019年7月19～21日には仙台市にて、第28回アジア太平洋地域大会が開かれるとのご報告がありました。

また、遠藤通寛次期理事からは、主題「未来に残すべきものを守り育てる！」との下に、ワイズという素晴らしい奉仕団体を守り育てるために、国際のロールバックマラリア事業に区としても継続賛同し、また、こども食堂などの支援とともに、YMCAの諸事業にも積極的に参画しましょうとの意気込みを語られました。

その後、会長や主査などにそれぞれ分かれて、「責務」について研修を受けた後、全体でキリスト教理解の後、集合記念写真を撮りました。

奉仕団体が高齢化や少子化で、マンパワーが減少するなかにあります。やはりどの時代でも社会奉仕は不可欠な人類共通の命題といえます。どんな環境にあろうとも、YMCAとのYY協働事業を積極的に進めるとき、自らして衰退減少から成長発展へと脱皮することを強く確信した研修会でした。

【2017年度 次期会長・主査研修会に参加して】

脇本 博

新大阪にある大阪コロナホテルで3月10日（土）～11（日）開催されました。仕事の関係上11日（日）しか参加できませんでした。冒頭、大野勉理事の呼びかけで3.11の東日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げ、開会しました。朝9時より西日本区連絡主事、有田征彦さんのYMCA理解の講義を受けました。YMCAの成り立ちから、各地域のYMCA、全国YMCA総主事会議、日本YMCA同盟等の組織の関連や最終決定機関がどこかなど、また財政、予算、事業分野等、YMCA全体を網羅した内容で情報が大量すぎてここには書き切れませんが、YMCAを理解する上で大変勉強になりました。

9時45分より西日本区書記、石津雅人メンから事務手続きの説明がありました。11時15分より各部に分かれての昼食をはさんでの懇談がありました。谷正一次期中西部長を囲んで、各クラブの現状報告と今後の方針など雑談形式で意見交換し、今後の大阪クラブの運営に良い参考意見をいただきました。当方からは90周年祝会の際の応援などお願いしておきました。3時15分に閉会となりました。

私にとっては3回目の研修会でしたが、京都部、九州部以外は会員数が減少し、1997年以来西日本区全体で416名の会員減少があるにも関わらず、研修会会場はワイズスピリットあふれる人たちばかりで、熱い情熱に触れ熱気を感じて帰ってきました。

【名古屋ワイズメンズクラブ70周年記念例会】

脇本 博

3月10日名古屋駅からほど近いアイリス愛知で開催されました。テーマは「先人に思いを馳せ 仲間感謝 未来を拓く」でした。140名近くの参加者で大変な盛り上がりがありました。私たちのテーブルには清水夫妻、脇本夫婦、私の左横には、懐かしい人がおられました。以前茨木クラブの連絡主事をなさっていた中村隆さんです。現在名古屋YMCAの総主事、代表理事を務め、大活躍されています。清水メンの対面には、名古屋クラブの木本精之助さんという方が着席されご挨拶したところ、なんと御尊父が1947～1948年度の大阪クラブの会長を務めておられた由伺い驚きました。清水メネットの右横には広島クラブから川口さんが着席されました。懐かしい人との出会いもありますが、初対面でも以前からおつきあいがあるように親しくお話できるのもワイズならではのようです。

70周年の式典も滞りなく終わり、NPO 法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長、大棟耕介氏の、ショーとトークライブがありました。小児がんや白血病で闘病中の子供達を病院に慰問し、笑いと希望を与えるパフォーマーです。

サーカスなどでよく観る道化師、日本では一般にピエロ (Pierrot) といわれています。ピエロとはとんがり帽子と悲しい青ざめた顔をした道化師で固有名詞だそうです。本来赤い大きな鼻と奇抜な衣装で人を笑わせ、楽しませる道化師をクラウン (Clown) と言い、これが英語圏では一般的だそうです。またClownにはもう一つ大事な仕事があります。それは聴衆や観客を自分に目を向けさせ、会場全体を一体化させるテクニックです。見事にそれをやってのけたのでびっくりしました。機会があれば皆様に一度披露してみたいと思います。Clownの本家本元の欧米からのお弟子さんも習いにきているようです。大阪の病院にも時々顔をだしているそうです。祝会の終わり頃、大阪クラブ90周年祝会実行委員長の清水メンはじめ、土佐堀クラブの工藤メン、奥田メン、岡野メンとともに壇上で90周年のアピールをしてきました。

名古屋クラブは1947年8月27日、戦災さめやらぬ廃墟の中から大阪クラブがスポンサーとなりチャーターされました。日本ワイズメンズ運動史には「日本区では8番目、戦後3番目に誕生したクラブである。」と記載されています。発足してからの名古屋クラブさんの活躍ぶりはめざましく、ロースターを調べてみますと、チャーターして6年目にして日本区大会を



ホストされ、その後2回の日本区大会をホストされています。また日本区が東西にわかれた後、西日本区大会を合同で2回ホストされています。子クラブさんを3つ作られました。戦災の焼け跡から立ち上がった日本の戦後の復興とともに、このように名古屋クラブさんは日本のワイズ運動に大変大きな役割を果たして来られました。

久しぶりに仕事から解放されて最高の時を過ごせました。(出席者 清水ご夫妻、脇本夫婦)

【総主事・就退任式 参加報告】

牟 大盛

3月21日午後3時から、土佐堀Yチャペルにて、末岡祥弘総主事の退任と小川健一郎総主事の就任式が持たれました。

予想した通り、チャペルには全員は入れずに、小生と脇本博次期会長は別室でのスクリーン参席となりました。和田早苗さんの奏楽により、讃美歌のあと奥田和弘牧師によるヨシュア記1章5節、コリントの信徒への手紙12章12～26節の聖句をもって、モーセのように私たちも神が常に一緒であり、なにも恐れることはなく、また体のなかで弱い部位ほど貴重であるように、我々も協調が大事との説教のあと、神学者ニーバーの「神よ、変えることのできない事柄について、それをそのまま受け入れる平静さを、変えることの出来る事柄については、それを変える勇気を、そしてこの2つの違いを見定める叡智を、私にお与えください。」との示唆に富んだ格言をご披露くださいました。

続いて、奥田牧師による式辞、13代小川新総主事による誓約のあと、任職の辞です。まず、1995年からのあらゆる面での苦難の大阪YMCAを前任者の錦織総主事と共に11年間成長させ、公益法人化するのに尽力された末岡総主事への感謝のお言葉がありました。

また、今、Yを取り巻く環境は、Branding、世界に広がるネットワーク、行政との共同事業、(2019年には、大阪市との共同で公設民営学校開設)などの事業拡大が展望されるのお話と共に、1891年のニコラス皇太子襲撃事件の天津事件の紹介とともに、時代背景を乗り越えて、YMCAが一丸となって回復を祈る必要性を話されました。

次に、歴代の総主事が保管しています聖書を12代末岡総主事から13代小川総主事へと引継ぎ式があり、末岡総主事からは、この11年間無事に責務を全う出来たのは、ひとえに関係諸団体のみならず職員一同の支えに他ならないとの感謝のご挨拶がありました。その後場所を変えて、2階ホールにて感謝のつどいが開催されました。

我が、大阪クラブへの歴代の総主事が、会員としてご入会されております。それは、日本で初めてのワイズメンズクラブとの意味合いがあるかと思っています。大阪クラブは、現在HH(聴覚障がい者)支援事業を大阪YMCAとの協働事業として位置づけ、公益法人、大阪YMCAの基幹事業としても認定されており、その意義は大変大きいと自負しております。

ワイズの存続意義は、YY(Y)協働事業をいかに時代の変遷に合わせて、YMCAを時にはリードしていく気概を持つべきかと思っております。大阪クラブの先人たちは大いなる気概に溢れた先輩たちでした。展望が混沌としている今こそ、YMCAとより深く手を携えながらYY(Y)運動をより深化させていくことが、何より必要と感じ、また悟る総主事就退任式でした。

【宝塚クラブ創立30周年記念例会参加報告】

北村 知三

3月21日（水・祝）宝塚クラブ創立30周年の記念例会が、宝塚ホテルで開催されました。

朝から小雨が降り肌寒い1日となりましたが、宝塚劇場西側に20年春に完成する新しい建物に移転のため、現在の建物での周年祝会はあと2年ほどで見納めとのことでした。

正午開会、まず新入会員4名の方々が紹介され入会式が行われました。一度に4名の方々が入会されるという我がクラブからするとうらやましい話です。続いて宝塚クラブ30年の歴史がプロジェクターで紹介され、メンバーの若かりし頃の笑顔が映し出されました。お祝いとして、障がいのある子どもたちのグループ「ポップリンガーズ」というミュージックベルを振動して演奏が行われました。一生懸命の演奏で、演奏終了後、子どもたちの達成感ある明るい表情に目頭が熱くなりました。休憩をはさみ食事の後半、新入会員の一人の方にミュージシャンがおられ、その方のギター演奏があり、演奏前のトークが30分ぐらいかかって時間が押ししてしまいましたが、演奏はオリジナル曲で面白いものでした。

大阪クラブの90周年祝会のチラシを各テーブルに置きましたが、タイミングよく開始直前に置いて、明るいブルーのチラシが出席者の目を引いたものと思います。神戸クラブの方が、来年は神戸クラブの90周年で、さらに再来年と3年後には、横浜クラブ、東京クラブが続いて90周年を迎えるとのこと、大阪クラブだけではないのだなという思いとともに、大阪クラブがそれらのクラブをみな90年前にチャーターしたと考えると、当時のクラブのメンバーはなんとバイタリティあふれた方々ばかりだったのだと、改めて感心しました。

当日は同時に行われた大阪YMCA総主事就退任式があり、大阪クラブからの参加者は北村1人だけでした。

【IBC 報告】

IBC 委員 脇本 博

パサデナクラブは大阪クラブの海外兄弟クラブ（IBC）であり、IBC 締結以来70年の交流の歴史があります。また、パサデナクラブとの間の夏季留学生交換プログラムは50年の歴史があります。昨年は大阪クラブがパサデナから学生を招く順番の年でしたが、マンパワー不足でできませんでした。パサデナにその旨連絡し、今年に受け入れることを約束していました。

今までのホームステイの実績を評価しますと、10年前にニコラス君が来日して、HH キャンプに参加してくれたことが、一番評価できる活動ではなかったかと思います。彼の参加によってキャンパーたちは英語学習の意欲が促進されました。また、ニコラス君にとってもこのような奉仕活動が大変有意義であった、とあとで報告をくれました。

このように日米のYMCAに連なるワイズメンズクラブの子弟を交換するのですから、単に物見遊山ではなく、ワイズ運動やYMCAの活動に参加できる機会をあたえるのも大変意義あることと思います。そこで今年はパサデナクラブに、8月6日から10日まで六甲YMCAで開催されるグローバルユースカンファレンス学生が参加するようよびかけました。大学の夏季休暇と学期始めは日米で異なりますので、参加できるような日程が組めるかどうかわかりませんが、学生が来日した際にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

以下のメールをパサデナクラブ会長のジェッフに送りました。

Hello Jeff,

I would like to inform you concerning our summer student exchange program 2018.

I regret not to have accepted your student last year in spite of our turn because of our club situations, that is, a loss of man power. We, however, are going to have your student stay with us this summer as I promised last year.

When we evaluate the performance of our previous cases, the work of Nicholas seems to be most valuable and meaningful one. He joined HH(hard of hearing) camp that we, OSAKA Y'S Men's club, are supporting as social service activities with Osaka YMCA. He made good friends with many young campers around 13-18 years old and inspired them to learn English. I suppose he had a good experience through such a social service activity and thought of something in his young age. The campers were able to have good time as well and were stimulated to learn more by Nicholas. It was an ideal case when we thought what it would be like and we found it just fit to our program. Therefore, we would like to give a suggestion to your candidate this year to participate to the activities of YMCA or Y's men's club.

The 4th global youth conference (GYC) is to be held on 6th - 10th August at Rokkousan YMCA global learning center where we hosted HH camp when Nicholas came to Osaka. Young stars from all over the world get together there and join several workshops regarding war and peace, green house effects, gender problem and etc. And there will be a lot of fun including sightseeing, camp, and tasting different cultures. I would like to recommend the student delegate to join GYC this year and to stay at our club member's home before or after participating to GYC. We can accept your student during 10 - 14 days including the duration of joining to GYC.

I would appreciate it if you think about our proposal from the view point that we are associated with the activities of YMCA. If your candidate has any questions regarding our proposal, please feel free to contact me.

I send you my best wishes and to your club members of Pasadena.

Sincerely yours

Hiroshi Wakimoto

IBC committee of Osaka Y's men's club

【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

☆第 300 回 大阪 YMCA 早天祈祷会

日時…4 月 14 日 (土) 10:00~11:30 (金曜日ではなく土曜日です)

お話…西村 耕さん (大阪 YMCA 元理事長)

場所…大阪YMCA会館 10 階チャペル

☆第 301 回 大阪 YMCA 早天祈祷会

日時…5 月 18 日（金）

お話…小川健一郎さん（大阪 YMCA 総主事）

場所…大阪 YMCA 会館 10 階チャペル

☆「みんながつながる」YMCA デー

YMCA 協賛 阪神タイガース主催試合

日時…4 月 14 日（土）試合開始 14:00 予定

【チャリティ協力】一口大人 4,000 円 子ども 2,500 円

— 東日本／熊本大震災被災者 100 名を阪神タイガースの試合に招待したい! —

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

老人 の 豊かさ 奪う 低金利	もそろそ 無後 で居たい 妻が云う	定年 の日 青空 に浮く 白い雲	アメリカ に 遠慮 するの も 苗がゆい	孫 たちの 楽しい 声が 春を呼ぶ	ワイズメン 高齡進 み 知恵使 う
-----------------------------	----------------------------	------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

【編集後記】

4 月となり新しいことが芽を吹き出すように人の活動を呼ぶ季節にもなりました。ワイズの任期はあと 3 ヶ月ですが、社会の変化は激しいものがあります。人々が平穩無事に生活できることを祈って止みません。

（編集委員：清水 汎）